

連続テレビ小説を生かした博覧会準備委員会 議事概要

日 時：令和4年4月11日（月）14:00～16:00

場 所：高知会館2階「白鳳」

1 開 会

司会進行：高知県観光政策課 仙頭課長補佐

2 副知事あいさつ

・挨拶：高知県 井上副知事

参考資料1 連続テレビ小説を生かした博覧会準備委員会設置要綱

・事務局提案（副会長の選任について）：説明：高知県観光政策課 仙頭課長補佐
副会長の指名・確認について出席者全員の一致を以て可決

3 協議事項

(1) 連続テレビ小説を生かした観光振興に向けたスケジュール（案）について

資料1 連続テレビ小説を生かした観光振興に向けたスケジュール（案）

説明：高知県観光政策課 鈴木課長

(2) 連続テレビ小説を生かした観光振興基本計画書（素案）について

資料2 連続テレビ小説を生かした観光振興基本計画書（素案）

説明：高知県観光政策課 鈴木課長

(3) 推進協議会として事業化を目指す取り組み（案）について

資料3 推進協議会として事業化を目指す取り組み（案）

説明：高知県観光政策課 鈴木課長

意見交換

意見交換内容（抜粋）※敬称略

発言：高知県牧野記念財団 理事長 川原 信夫

・ 本日お集まりいただいた関係各所の皆様のお力なしには県の産業振興・観光振興には

繋がらない。ご協力を賜れたらと思っている。

- ・ 2月に連続テレビ小説の制作が決定・発表後、すぐに来園者が増加した。令和3年度は新型コロナウイルスの影響を受け、年間入園者数が13万人弱。これはコロナ以前の令和元年度(17万4000人)と比較して3割近く減少している。今年3月から来場者数が増加、1日の来客数が2500人を超える日もあり、園内は人であふれている印象。4月以降も好調で、直近10日間の来園者総数がすでに1万人を超えている。かなり勢いがある状況。精一杯楽しんでいただけるよう、企画を行っている。
- ・ 当園が現在抱えている問題は、駐車場の整備事業。新研究棟の建設のため、来園者が使用できる駐車場の数が限られている。県の支援を受けて高知新港に臨時駐車場を整備。土日祝日にはシャトルバスでの送迎を実施しているが、一部お待たせすることもある。また、園の駐車場が満車のために多いときは100台以上の方に山から下りていただく場面もあり、今後重要な課題。お客様の満足度に繋がるよう、改善していきたい。
- ・ 令和4年4月24日は牧野富太郎博士生誕160年。4月24日にはイベント開催、春と秋にそれぞれ特別展示を実施するなど、特別な1年間を盛り上げていきたい。広くアピールをしていただき、多くの方に牧野植物園に来ていただくことはもちろん、高知県の魅力を知っていただきたい。

発言：越知町 副町長 國貞 誠志

- ・ 昨年アニメ映画「竜とそばかすの姫」モデル地に続き、連続テレビ小説は当町にとって大きな追い風。大変うれしく思っている。
- ・ 横倉山は牧野博士の研究フィールド。自生している非常に希少な植物を間近で見ることが出来る。すでに織り込んでいただいている案内板やガイド運営などの支援策について、高知県と連携しながら取組を進めていきたい。一方で、今後多くの方が横倉山に入山することが予想される。人が立ち入ることによって環境が壊されることのないよう、「自然環境との共生」に関するソフト面のご支援を高知県にもしっかりと考えて頂きたい。

回答：高知県観光政策課 鈴木課長

- ・ 資料2「6県・市町村・広域観光協議会の取り組み」の「(1)将来にわたって活用できる観光基盤づくり」にもあるように、専門家の意見取り入れながら、オーバーツーリズム対策や現地の草花への負荷軽減、持続可能な受入環境の整備の観点が重要になってくる。専門家の意見を聞きながら、十分に配慮していきたい。

発言：佐川町 副町長 田村 正和

- ・ 来てくださる方々に向けた取組として、県内全域においてムラのないおもてなしが重要。時間が無い中ではあるが、佐川町はメイン会場としてしっかりとしたおもてなしが出来よう、今回のこの機会をチャンスととらえてハード面・ソフト面しっかりと取り組んでいきたい。

質問：高知県商工会連合会 会長 武田 秀義

- ・ 資料2「4 推進協議会の取り組み(受入環境整備)」の「①地域支援事業」の窓口は？四万十町には観光協会内には「地域の里山を守る会」があり、希少植物を守る団体もその中に含まれる。そのような団体への支援依頼や提案を受け付ける窓口はどこか？

回答：高知県地域観光課 別府課長

- ・ 地域の団体への技術的な支援については、牧野植物園と連携した取組を現在考えているところ。また具体策ができ次第ご連絡させていただきたい。

回答：高知県林業振興・環境部 豊永部長

- ・ 県内の希少な植物に関しては当部の自然共生課が所管。博覧会に関してどのように対応していくかきちんとした整理は現時点できていない。希少な植物の群生地をオープンにして来客増を図ろうとすることはないが、地域の自然を紹介する県内各地の施設での展示・イベントを通して希少植物についての情報発信を行っていきたく考えている。保全の意味で、去年はレッドデータブックも改正したので、それらの周知に観光客の方にも自然の大切さを発信していきたい。
- ・ 牧野植物園の駐車場について、本年度中に約50台増の整備を終える予定。現在1日2000人程度の観光客が来られるなかで、駐車場の利用が出来ない問題を解消すべく、整備を行っている。博覧会開催後はそれを超える来場者数が予想される。臨時駐車場のシャトルバス増便や定期便の整備もあわせて対応していきたい。

発言：(株)フジドリームエアラインズ 高知空港支店 支店長 秋山 正之

- ・ 資料2「開催概要」の「(1)開催の基本方針」基本方針にもあるように、新型コロナウイルスで苦しむ高知県観光の起爆剤になると同時に、「継続性」を大事にしていかなないともったいないと考えている。トレンドにもなっているサステナブルやSDGsはこの博覧会においてもピッタリなトピック。上手くマッチングさせられるとよいと考えている。
- ・ 高知といえば自然で、大自然とかピュアな純自然が普通の印象だが、今回は植物園のように「人が接することによって健全に保たれ育成される自然」という印象を受けた。博覧会においては、人と共存するイメージと結び付けられるようなネーミングがよいと思う。高知の自然のもう一つの側面が感じられるようなネーミングを期待している。

回答：高知県 井上副知事

- ・ 非常に良いテーマを頂いた。ネーミングも含めて検討していきたい。

発言：全日本空輸(株)高知支店 支店長 堀田 徹

- ・ 資料2「2 開催の目的」における博覧会のメインターゲットはどこにあるのか。現在高知県が設定しているメインターゲットに近いものがあると見受けるが、メインターゲットが女性や若者ではなく、「現在の主たる観光客像に加えて、牧野博士をフックに女性や若者をさらに取り込んでいく」という意味合いで間違いないだろうか？

回答：高知県観光政策課 鈴木課長

- ・ 現在、高知県にお越しいただいているメイン層は男性が約7割で年齢層が高め。一方で連続テレビ小説の視聴者層や、牧野植物園・モネの庭などに来場するメイン層は女性が多い。その流れを県内全域に取り込んで、高知県観光において今まで弱かった層にも力を入れていきたい。

発言：全日本空輸(株)高知支店 支店長 堀田 徹

- ・ 若者については、女性も男性も両方含まれるのか。

回答：高知県観光政策課 鈴木課長

- ・ 含まれる。連続テレビ小説主演の神木隆之介さんは男女・年齢問わず幅広い層に人気がある。これまでにない発信も加えて取り組んでいきたい。

発言：全日本空輸(株)高知支店 支店長 堀田 徹

- ・ 女性ゾーン、若者ゾーン、それぞれの層を誘致する計画は個々に方法を変えて取り組んでいくイメージか。

回答：高知県観光政策課 鈴木課長

- ・ 発信の仕方についても、これまでにない媒体や今まで以上に SNS を活用するなど工夫を行っていきたい。

発言：高知県 井上副知事

- ・ 「若者」というのはヤングファミリーというイメージが強いのだろうか。

回答：高知県観光政策課 鈴木課長

- ・ ファミリーも含まれるが、より広く「若者層」というところで捉えている。

発言：高知県ハイヤー・タクシー協議会 会長 楠瀬 賢一

- ・ 博覧会名称についてはネットを用いた全国公募も視野に入れてみては。それによって事前に博覧会の広報が出来るのではないだろうか。具体的な名称案は決まっているのか？
- ・ 修学旅行の誘致にも力を入れて頂きたい。

回答：高知県観光政策課 鈴木課長

- ・ 現在部内で検討チームを作って、女性に刺さるようなコピーなどいくつか候補案を出している。今後専門家の方のご意見を取り入れつつ、絞り込みを行っていく。実際にどういう決め方をするのかはこれから協議のうえ決めていきたい。
- ・ 参考にさせて頂く。

発言：土佐山内記念財団 理事 渡部 淳

- ・ 牧野博士においては自然科学系が主たる分野ではあるが、歴史的な分野においても無関係ではない。江戸時代後期には博物学が盛んになり、植物をはじめ生き物図鑑が多く

作られた。そのような文献は各地の図書館・資料館等に収蔵されている可能性がある。歴史・人文科学の視点から新しい資源の発掘があるのでは。

- ・ 歴史的観点から見ると牧野博士と自由民権運動の関係は深い。牧野博士には「日本の植物は自分たちで名前を付けたい」という思いが根底にあったように見受けられる。歴史的要素によって、さらなる広がりを持って牧野博士について知ることが出来るように思う。
- ・ 牧野博士の生い立ち、佐川という地域が生み出した牧野博士を取り巻く土地や環境にもスポットライトを当てることで、歴史に興味を持つ層にも訴求できるのではないだろうか。東京では植物分類学が主たる分野として見られることになると思うが、「高知に来れば牧野博士の様々な横顔を見ることが出来る」ということの準備も必要ではないだろうか。

回答：高知県 井上副知事

- ・ 様々な分野とコラボレーションしながら、博覧会を盛り上げていきたい。

発言：高知商工会議所 観光部会長 古谷 純代

- ・ 世界的な植物学者を輩出した佐川町への注目の声が、同業者や県外在住の知人からあがっている。また、司牡丹から発売されたジンが売れており、品薄状態が続いていることから、非常に経済効果がもたらされることがわかる。
- ・ 教育的な観点においても、「どこにいても、素晴らしい人材が輩出できる」ということを子ども達に発信していただきたい。牧野植物園は昔から遠足の定番でもある。自然や展示を通して学ぶ教育環境がある。この機会にぜひ来園してほしい。その様子が SNS で発信されることで、新たな客層の取り組みにもつながる。若い世代の子育て層にもぜひ来園してほしい。

回答：高知県教育委員会事務局 合田教育次長

- ・ 教育活動として、県内の児童・学生が改めてしっかりと牧野博士について学ぶことが重要。そのうえで、課外活動や高校生によるガイドなどの地域貢献についても展開していきたい。

発言：高知県旅館ホテル生活衛生同業組合 理事長 藤本 正孝

- ・ 博覧会スタート・連続テレビ小説放送開始まで1年しかない。準備期間が短いのはハンディキャップ。いかにスピーディに進めて行くかが課題。
- ・ 連続テレビ小説のなかでいかに高知県が長い期間露出されるか、脚本の構成が大事。牧野博士の東京での活動がドラマで描かれるなかにおいても、高知との交流をいかに持たせられるか、NHK サイドに事務局からも働きかけていただきたい。
- ・ 博覧会開催や連続テレビ小説の機運をいかに継続できるか、それが一番大事なところではないかと思う。多種多様な発信方法を活用していく必要がある。

回答：高知県観光振興部 山脇部長

- ・ 全庁をあげて急ピッチで準備を進める。
- ・ 脚本については現時点で言えない話も多いが、高知県の露出が多くなるよう NHK プロデューサー来高の際に知事からもお願いしている。今回のドラマは史実に必ずしも一致したストーリーではないので、高知がより多く登場されるようなストーリーとなるよう、進めて行きたいと考えている。

回答：高知県観光コンベンション協会 岡林専務理事

- ・ 現在、ドラマ制作の美術部が来高中。高知県での牧野博士の史実や当時の文化を深く調査していただいたうえで、発信していただけるのではないかと。コンベンションとしても、高知県の露出が増えるよう全面的に協力していきたい。

質問：四国旅客鉄道(株)高知企画部 企画部長 田岡 弘久

- ・ プレ博覧会以降はリョーマの休日 CP は終了するのか。
- ・ 牧野植物園へは MY 遊バスを利用するお客様が多い。龍馬伝のセットが残っている旅広場は、牧野仕様への変更予定はあるか。

回答：高知県観光政策課 鈴木課長

- ・ 博覧会スタートまでは開幕準備と並行してリョーマの休日 CP を継続。それ以降は博覧会に置き換わる。
- ・ 現在検討中だが、駅前の観光案内機能の強化とあわせて、幕末志士社中についてもリニューアルについて検討していく。

発言：土佐くろしお鉄道(株) 代表取締役社長 金谷 正文

- ・ 今回の取り組みで全国に発信することは非常に大事。将来に向けて持続的に発信していくにあたって、まずは県内の子ども達に今一度根底から目を向けてもらえるようなきっかけづくりを行ってほしい。県内の東西から、学生が頻繁に牧野植物園に来られるような商品づくりができないか、JR とも真剣に検討したい。

発言：高知県バス協会 会長 樋口 毅彦

- ・ バス協会においても博覧会の取り組みに期待。二次交通など、一緒に高知県の全体振興に繋がるよう努力していく。

発言：高知市商工観光部 部長 今西 剛也

- ・ 現在桂浜は新しい事業者によって整備中。10 月にはプレ、グランドオープンは 4 月とドラマ放送と同じタイミングとなる。GW の渋滞対策は大きな課題。これまでも渋滞対策に取り組んできたものの、それぞれの機会損失にならないよう高知市だけでなく県内全域で新しい方法を考えていきたい。

4 その他

5 閉 会